|  |
| --- |
| 学習のてびき　　　　　　情景描写から心情を捉える |
| 学習日 ／ |
|  組 号 |
|  |

　情景描写とは？

　　登場人物や語り手の気持ちを、それとなくわかるように映し出した風景を描いたもの。情（人の心の動き）と景（景色）を合わせた描写。直接的には描かれていない、登場人物や語り手の気持ちを想像する手がかりになる。（『現代の国語』三省堂）

風景の描写との違いは？

　　前後の文と合わせて読むことで、登場人物の心情が深くわかる。

情景描写に成りえるもの

空模様、気温や湿度、色彩、感触、匂い、音など、五感で感じ取るもの

情景描写から心情を捉える手順

一日中降り続く雨はやみそうになかった。私たちはだれもいない部室で向かい合っていた。重苦しい空気が、二人の間にただよっていた。遠くで雷が鳴った。たたきつけるような雨音が聞こえる中、私たちは無言だったが、口火を切ったのは彼女だ。「やめてほしいの、キャプテン…。」一瞬、彼女の言葉を理解できなかった。

・だれもいない

・重苦しい

・無言

・やめてほしいの

状況を伝える

前後の表現も

参考にする

|  |
| --- |
| 風　景 |
| ・一日中降り続く雨はやみそうになかった。・遠くで雷が鳴った。たたきつけるような雨音が聞こえる中、 |

そこから想像される登場人物の気持ちを考える

恐怖　不安

様子が伝わる表現を見つける

一日中降り続く

雷が鳴った

たたきつける

表現からイメージされるものを考える

恐ろしさ　不吉　激しさ　波乱